



ごあいさつ

今回のNEZU システム通信は、

日頃は**根津グループ**とお取引頂きまして、誠にありがとうございます。

鉄鋼関連情報(社団法人鉄鋼連盟 2011年7月25日発表)

パソコンにも熱中症対策！？

についてお届け致します。

鉄鋼関連情報

下記 URL より社団法人鉄鋼連盟が発表した『鉄鋼需要 2011年7月』の資料を閲覧することが出来ます。(次回公表は9月下旬予定です。)

<http://www.jisf.or.jp/data/jyukyu/documents/jyukyu1107.pdf>

パソコンにも熱中症対策！？

電力会社各社からの要請により、エアコンの設定温度を控えめにしたり、扇風機を導入して節電をしたりと努力の夏になっています。水分と塩分、糖分を十分に取り、熱中症対策をしましょう。

そして、パソコンにも高温防止対策が必要です。あまりに気温が高いと思わぬトラブルを招くこともあります。例えば右図の様な動作環境がマニュアルに書かれているパソコンがあります。皆さんの使用されているパソコンのマニュアルにも、動作環境が書かれています。

それでは、パソコンにとっての動作環境をチェックしてみましょう。

温度範囲	
動作時	10～35℃
保管時	-10～45℃
相対湿度(最高)	20～80 % (結露しないこと)
高度(最高)	
動作時	-15.2 ～ 3,048 m
保管時	-15.2 ～ 10,668 m

パソコンは高温が苦手

中央演算処理装置(以下CPU)は熱いと休む時間が増えてくる

昔のCPUは高負荷や周辺温度の上昇などで内部の温度が高くなり過ぎると、熱暴走と言って異常動作やフリーズ、再起動などを引き起こすことがありました。熱暴走を繰り返すと、CPUの寿命が短くなると言われています。最近のCPUは内部に温度センサーを持っていて、CPUが熱暴走しそうな程の温度になる前に、自ら処理を一時停止して温度が上がらない様になっています。夏になって気温が高くなると何となく処理速度が遅くなるという場合は、CPUが熱くなっているかも知れません。

ハードディスクドライブ(以下HDD)は熱いと突然故障する確率が増える

HDDが動作するための最適温度は40℃と言われていています。しかしそれより高い65℃以上では、故障率が激増します。この40℃、65℃という温度は、室温ではなくHDD本体の温度です。外気温が高くパソコン内部の発熱(CPUとHDD自体からも大量発熱します)が多いと、HDDの温度が上がってしまいます。動作中のHDDを触ってみて、触れられないほど熱い状態だと、危険な状態です。HDDは消耗品と言われてはいますが、定期的なバックアップと温度管理は重要です。



火傷の恐れがありますので、接触には十分注意をお願いします。

無停電電源装置(以下UPS)は熱さで寿命が縮む

UPSにはバッテリーが入っています。このバッテリーは、温度が高いと劣化します。35 以上になると、期待寿命の半分以下になることもあります。仕様上では5年は持つはずだったのに、暑い環境に置いておいたら2年半でバッテリーが劣化してしまい、肝心の停電時に役に立たなかった、なんてことになりませんように。

デジタル温湿度計の薦め

いくら暑いと言っても、今何??と体感温度と室温とのギャップがある場合があります。暑いと思っていなくても意外と室温が低かったり、風があつて涼しいと思っていなくても意外と高かったりします。そんな時には、デジタルタイプの温湿度計を設置する事をお勧めします。ホームセンターで1,000円前後で売っていますので、複数購入して部屋の数か所に設置して室温管理をしてみてください。一つの部屋の中でも温度差が発生していることが確認出来ます。また、温度の最高値と最低値を記録するタイプもありますので、休日に職場の温度がどの位まで上っていたのか確認もできます。



わたしたち人間が頑張っても暑さに耐えてもパソコンが故障して大切なデータが破損し、費用が発生してしまったら折角の節電も逆効果です。今年は大変な夏ですが、大切なパソコンも夏バテしない様に風通しの良い場所に設置し直したり、扇風機をあてたりする等、パソコン周辺の温度環境を確認してみましょう。

参考URL

WebR25 パソコンの寿命を縮める「熱暴走」傾向と対策は？

http://r25.yahoo.co.jp/fushigi/rxr_detail/?id=20070913_90002733_r25

オムロン バッテリーの寿命について

<http://www.omron.co.jp/ese/ups/product/battery/jumyou.htm>

パソコンの暑さ対策

<http://www.夏の暑さ対策.com/pc.html>



編集後記

こんにちは、情報システム事業部の添田です。色鮮やかな朝顔や大輪の向日葵が咲く季節になりましたね。今、アロマセラピーのスクールに通ってアロマヒーリングについて勉強しています。きっかけはアロマセラピストの方の何気ない行動でした。私が通っているスポーツジムに整体・リフレクソロジーのスペースがあり、アロマセラピストの方がいます。震災後のある日、被災地の福島から長野へ戻ってきた私に元気がないのを見兼ね、何も言わずに更衣室で焚いていたアロマオイルをユーカリからオレンジのアロマオイルに変えてくれました。アロマオイルのオレンジは、緊張をほぐし元気にさせてくれる効果があります。後になってそれを知り、アロマセラピストの方のさりげない優しさが心に深く深く沁みました。

まだ始めたばかりですが、私もボランティア活動や家族、友人、身近な人、大切な人を癒すことが出来るハンドマッサージなどのアロマトリートメント技術が習得できるまで勉強したいと思っています。



発行：根津鋼材 株式会社

住所：〒116-0014 東京都荒川区東日暮里1-32-5 (TEL)03-3805-5555

メール：hp_master@nezu-g.co.jp ホームページ：<http://www.nezu-g.co.jp/>

発行人：根津訓光 / 監修 樋口良成 / 編集長

編集：情報システム事業部

NEZU システム通信に掲載された記事の転載はご遠慮願います。



このメールマガジンは、弊社とお取引があり配信依頼がありましたお客様にのみ発行しております。配信中止の場合は、お手数ですが hp_master@nezu-g.co.jp までご連絡ください。その際には、御社名、御社(配信先)メールアドレス、担当者様名を明記くださいます様よろしくお願い致します。